

S I P次世代海洋資源調査技術推進委員会・調査検討ワーキンググループ（第2回）

議事要旨

1. 日 時：平成26年9月30日（火）9：30－11：00

2. 場 所：(独)海洋研究開発機構東京事務所 共用会議室

3. 出席者：

(議長) 浦辺 徹郎 プログラムディレクター（PD）

(SubPD/PD 代理) 浦 環 九州工業大学 社会ロボット具現化センター センター長、特別教授

(SubPD) 堀田 平 (独)海洋研究開発機構 理事

廣川 満哉 (独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構

金属資源技術部 担当審議役（代理出席）

(委員) 池原 研 (独)産業技術総合研究所 地質情報部門 統括研究主幹

高橋 卓 (独)情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク研究所

宇宙通信システム研究室 研究マネージャー(代理出席)

片山 典彦 (独)情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク研究所

宇宙通信システム研究室 研究員(代理出席)

田村 兼吉 (独)海上技術安全研究所 研究統括主幹

小田野 直光 (独)海上技術安全研究所 水中工学センター 副センター長

吉江 宗生 (独)港湾空港技術研究所 海洋インフラ技術推進センター 上席研究官

林 輝幸 (独)港湾空港技術研究所 企画管理部企画課 課長代理(代理出席)

越川 海 (独)国立環境研究所 地域環境研究センター海洋環境研究室 室長

磯崎 芳男 (独)海洋研究開発機構 海洋工学センター センター長

吉田 弘 (独)海洋研究開発機構 海洋工学センター 技術開発部 部長

大澤 弘敬 (独)海洋研究開発機構 海洋工学センター 技術開発部 次長

木川 栄一 (独)海洋研究開発機構 海底資源研究開発センター 研究開発センター長

熊谷 英憲 (独)海洋研究開発機構 海底資源研究開発センター

資源成因研究グループ グループリーダー代理(代理出席)

川口 勝義 (独)海洋研究開発機構 地震津波海域観測研究開発センター

海底観測技術開発グループ グループリーダー

山本 啓之 (独)海洋研究開発機構 海底資源研究開発センター

環境影響評価グループ グループリーダー

(オブザーバー)

内閣府、総合海洋政策本部、総務省、国土交通省海事局、国土交通省港湾局、
文部科学省、環境省、

(事務局)

(独)海洋研究開発機構 海底資源研究開発センター 企画調整グループ

4. 議事

(1) 各研究課題の実施概要説明

(2) 各課題の進捗報告

(3) 評価に向けた取組み

(4) その他

5. 配布資料

- 資料 1 - 1 3. 生態系調査・長期監視技術開発 ①海洋生態系観測と変動予測手法の開発
- 資料 1 - 2 3. 生態系調査・長期監視技術開発 ②ケーブル式観測システムの開発
- 資料 2 - 1 「海洋資源の成因に関する科学的研究」の進捗概要
- 資料 2 - 2 「AUV の複数機運用手法等の研究開発(高効率小型システム)」の進捗概要
- 資料 2 - 3 「AUV の複数機運用手法等の研究開発(高機能システム)」の進捗概要
- 資料 2 - 4 「ROV による高効率海中作業システムの開発」の進捗概要
- 資料 2 - 5 「衛星を活用した高速通信技術の開発」の進捗概要
- 資料 2 - 6 「海洋生態系観測と変動予測手法の開発」の進捗概要
- 資料 3 平成 26 年度末の評価に向けた対応 (案)
- 参考資料 1 SIP 次世代海洋資源調査技術 調査検討ワーキンググループ構成員名簿
- 参考資料 2 SIP 次世代海洋資源調査技術推進委員会・調査検討ワーキンググループ (第 1 回) 議事要旨

6. 議事要旨

(1) 各研究課題の実施概要説明

「海洋生態系観測と変動予測手法の開発」及び「ケーブル式観測システムの開発」の取組みについて、各研究代表者等から説明があり、それらの実施内容に関する議論を行った。

(2) 各課題の進捗報告

「海洋資源の成因に関する科学的研究」、「AUVの複数機運用手法等の技術開発」、「ROVによる高効率海中作業システム」、「衛星を活用した高速通信技術の開発」について、直近の進捗状況に関する報告が各研究代表者等からあり、進捗に関する議論を行った。

(3) 評価に向けた取組み

事務局より、平成26年度末の評価に向けた対応について提案があった。

(4) その他

事務局より、広報に関する取組の紹介及び打ち合わせ場所の確保に関する調整状況について報告があった。

以上